

日和機器(株) 2006年サイトレポート

所在地	: 愛知県名古屋市港区当知3丁目3215番地
創 立	: 1974年(昭和49年)1月
社 長	: 松浦 丞治
資本金	: 40百万円
主要事業	: 車両用電装部品(プラグキャップ・プラグコードその他)の製造
従業員	: 82人(2006. 3. 31現在)



●代表者の緒言



社長 松浦 丞治

当社は、名古屋市の南西部に位置し、工場や住宅の中にあります。南方には国際貿易港である名古屋港を擁した工業地域、西方には農業振興地域が広がる米作地域もあります。このような環境の中で、2005年度にゼロエミッションを達成し、今年も環境マネジメントシステムの運用をより適正に広く展開し、法規制の遵守及び環境改善の実施並びに地域貢献と、環境負荷への低減に向けての継続的な活動を展開する所存です。

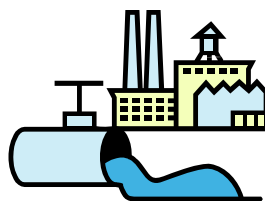
●ISO認証状況



取得年月
●2004年1月
認証期間
●TUVラインランドジャパン
認証番号
●09 104 8237/12

●マテリアルバランス(2005年4月～2006年3月実績)

エネルギー	購入電力	28万KWH
	都市ガス	0.6万m3
	ガソリン	1KL
紙	コピー紙	0.8トン
	その他の紙	127トン
その他の材料・補助材料	プラスチック材料	19トン
	化学物質	0.06トン
	油類	0.02トン
	その他材料	0.08トン
水	上水	941トン



使用エネルギーによるCO2排出量	生 産	106トン
	輸 送	2トン
廃棄物	リサイクル	8トン
	埋立・焼却	0.1トン
排水	排 水	941トン
容器・包装材料	プラスチック類	2トン
	紙類	7トン
	ダンボール	118トン

●排水・騒音の環境データ(調査期間:2005年4月～2006年3月)

項目	種類	単位	法規制値	自主基準値	平均	MAX	MIN
排水 (下水道)	pH		5以上	6～8	7.1	7.2	7.0
	n-ヘキサン						
	動植物	(mg/L)	50以下	40以下	2.5	3	2
	n-ヘキサン						
騒音	鉦物類		50以下	40以下	1	1	1
	昼間	(dB)	65以下	63	62.3	62.3	62.3

*1 水量的に下水道法には非該当。(上記数値は市条例)
(水量 3m3/日)

*2 法規制値は、準工業地域 昼間(8時～19時)に該当
(就業時間8:20～17:15)

●地域清掃活動(2005年4月～2006年3月)



●法規制遵守状況(2005年4月～2006年3月)

法規制違反、罰金、訴訟の件数	0
----------------	---

2005年 9月 8日	20名	日和地区周辺清掃活動
-------------	-----	------------

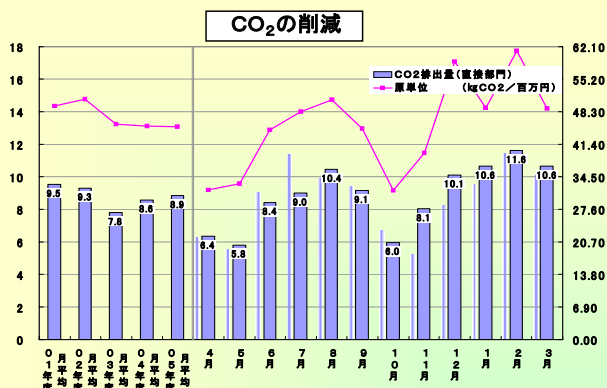
利害関係者からの要求の件数	0
---------------	---

2006年 3月16日	23名	日和地区周辺清掃活動
-------------	-----	------------

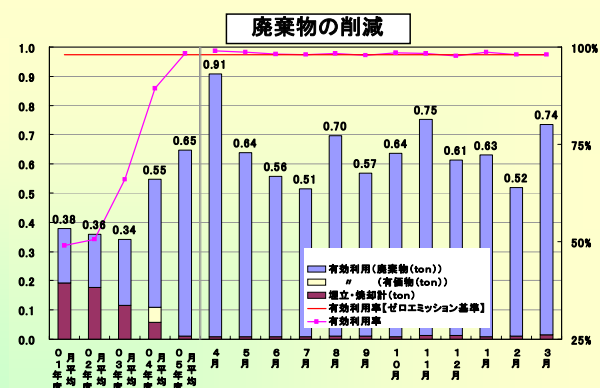
●2005年度 環境の目的・目標と実績

取り組み項目	管理項目(目的・目標)	実績	実績評価
原単位当りのCO ₂ 総排出量削減	2001年度比▲15% (目標値47.13kg/百万円)	▲16.5% (46.21kg/百万円)	○
ゼロエMISSIONの達成	廃棄物の有効利用率98%以上	98.38%	○
廃棄物排出量の削減	2003年度比▲5% (目標値324.71kg/月)	+89.4% (647.26kg/月)	×
上水使用量の削減	2003年度比▲24.5% (目標値71.5m ³ /月)	▲17.2% (78.42m ³)	×
グリーン調達推進	事務用品のエコ化率90%以上	94.4%	○
原単位当りのキシレン・トルエンの排出量削減	2001年度比▲27.6% (目標値0.21kg/千本)	▲34.5% (0.19kg/千本)	○
地域社会の環境に配慮する	工場周辺の清掃活動実施 2回/年	2005年9月、2006年3月	○
エコマインドに溢れる従業員の育成	安全衛生・環境大会の開催	7月	○

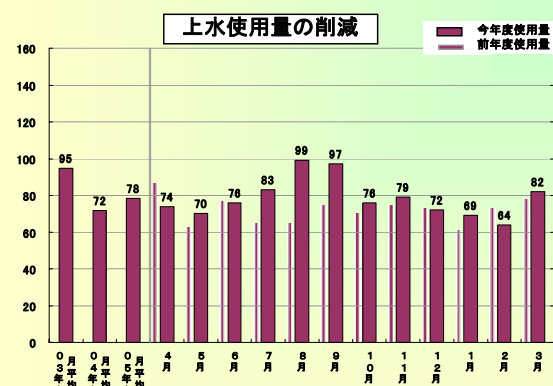
●2005年度主な環境データ



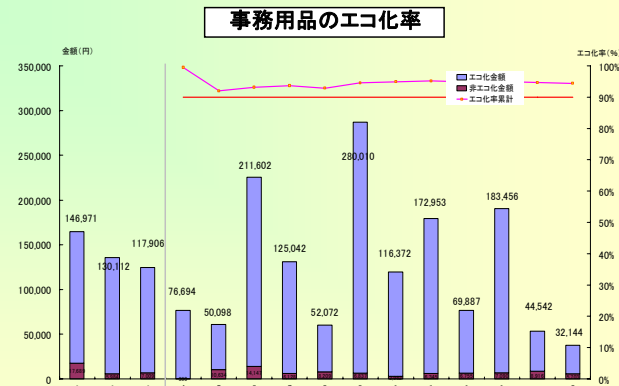
工程での合理化による作業高効率やコンプレッサー出力調整等によって原単位当りの排出量が減少できた。



埋立していた樹脂成型時の廃材のリサイクル化でゼロエMISSION達成したが樹脂成型の内製が本格化した為、総排出量が目標を超えた。



水道蛇口のバルブ締め付けを実施したが、ウォータークーラー及び給湯器の漏水で使用量増加した。



グリーン調達化を積極的に進め目標値90%以上が達成できた。

●2006年度 主な環境目的目標

マネジメント	QMS/EMSの複合監査受審 環境関連事故・環境苦情件数ゼロ 環境法規制違反件数ゼロ	ファクトリー/ オフィス	上水使用量の削減 5m ³ 水削減 ・音姫装置の設置
ファクトリー/ オフィス	地球温暖化防止策としてCO ₂ 排出量の削減 削減計画を策定し2.4tの削減 ・会議時間の短縮・空調機シーズンオフ時ブレーカーOFF ・受入検査合格者の向上・LB-Hタイプ検査工数の低減 ・油圧ポンプをIPポンプへ変更・自動組合せ機No.5号機稼動	プロダクト	ハザートランク禁止物質の不使用 取引先に環境調査実施 社有車のエコ車への更新
	廃棄物排出量の削減 削減計画を策定し1tの削減 ・封筒再利用・チェック用印刷廃止・ラジエターキャップ輸送 通い箱化・樹脂成型のゲート寸法短縮・仕様カード再使用による排出量削減		
		コミュニケーション	地域の環境に貢献 工場周辺の清掃活動実施 2回/年
		マインド	安全衛生・環境大会の開催 1回/年